

わがまち青梅講座 紅葉の長淵丘陵を歩く

市文化財保護指導員の案内のもと、郷土・青梅に関する知識を深めてみませんか。

今回はバードウォッチングも行います。

行程 11月17日(土) 午前9時郷土博物館集合(新収蔵品展見学)～釜の淵公園(野鳥観察)～五日市道(こんにゃく岩)～旧二ツ塚峠～秋川街道～下り坂道～万場坂～午後3時ごろ鹿島玉川神社解散

※雨天中止、健脚向きのコースです。

定員 30人(抽選) **費用無料**

持ち物 雨具、筆記用具、レジャーシート・双眼鏡(お持ちの方)、昼食、水筒

申し込み 10月31日(必着)までに往復ハガキに(往信裏)住所、氏名、年齢、電話番号(返信表)住所、氏名を記入し、〒198-0053青梅市駒木町1-684青梅市郷土博物館「わがまち青梅講座」係へ

※同伴者は1枚につき1人まで可(同伴者名も必ずご記入ください)

問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859

郷土博物館「新収蔵品展2018」

平成29年度に市民の皆さんから寄贈いただいた貴重な資料を展示・紹介する「新収蔵品展2018」を開催します。



日程 10月20日(土)～平成31年1月6日(日)

休館日 月曜日および12月29日～1月3日

※12月24日は振替休日のため開館し、25日が休館となります。

問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859

はじめてみよう!～秋の芸術講座～ 初心者でも丁寧に指導します

リトグラフでクリスマスカードや年賀状を制作しよう!

木彫を楽しむ 干支を彫ろう!

リトグラフ(平版画)の技術を使って、色彩版画を制作する講座です。オリジナルカードを作りましょう。経験者はオリジナル版画制作もできます。



てのひらに乗るほどの大きさの、来年の干支「亥」を彫ります。初心者も経験者もレベルにあった作品制作に向けて、丁寧に指導します。

| 講座種類 | リトグラフ(全5回) | 木彫(全6回) |
|--------------|---|--|
| 日程 | 10月27日(土)、11月3日(祝)、10日(土)、18日(日)、24日(土) | 10月27日(土)、11月10日(土)、17日(土)、12月1日(土)、9日(日)、15日(土) |
| 時間 | 午後1時～4時 | |
| 会場(明星大学青梅校内) | 版画工房 | 木材造形工房 |
| 対象 | 中学生以上※初心者可 | 高校生以上※初心者可 |
| 講師 | 版画家 根岸一成氏 | 彫刻家 榎戸項右衛門氏 |
| 講座責任者 | 明星大学デザイン学部教授 渋谷和良氏 | 明星大学デザイン学部教授 塩野麻理氏 |
| 定員 | 先着8人※市内在住・在勤者優先 | |
| 費用 | 2,000円 | |
| 服装・持ち物 | 汚れてもよい動きやすい服・靴、エプロン、スケッチブック、筆記用具 | 汚れてもよい動きやすい服・靴、筆記用具 |

その他 青梅市生涯学習推進市民会議企画講座

申し込み 電話で社会教育課へ

16ミリ発声映写機操作講習会

16ミリ発声映写機の操作技術を習得して、家庭や地域、職場などで映写会を開いてみませんか。



日時 10月30日(火) 午後6時30分～8時

会場 市役所2階会議室 **対象** 市内在住・在勤・在学で16歳以上の方

定員 先着15人(予約制) **費用無料**

持ち物 顔写真2枚(2.5×2.5cm)、筆記用具

申し込み 住所、氏名、年齢、電話番号、職業を電話、ファックス ☎22-9835 または直接社会教育課へ

東京文化財ウィーク2018

問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859

文化財を身近に感じていただくために、都内全域で国・都指定の文化財が公開される「東京文化財ウィーク2018」が10月27日(土)～11月4日(日)に開催されます。市内でも多くの文化財が公開され、各文化財の公開場所に解説カードを設置します。

市内で公開される各文化財の公開日・公開時間等の詳細は、郷土博物館で無料配布する「東京文化財ウィーク2018パンフレット」または東京文化財ウィークホームページ ☎ http://www.syougai.metro.tokyo.jp/sesaku/week.html をご覧ください。

文化の秋、市内の歴史や文化を学んでみてはいかがでしょうか。

○特別公開

日時 10月27日(土)～11月30日(金) 午前9時～午後5時

会場 郷土博物館 **休館日** 月曜日

内容 国指定重要文化財…寺改戸遺跡土壙出土品(注口土器・小型深鉢形土器)▶都指定有形文化財…駒木野遺跡26b号住居跡出土土器、青梅新町開村記録、旧多摩郡新町村名主吉野家文書▶市指定有形文化財…並木家中世文書 ほか



注口土器と小型深鉢形土器

○澤井村全図等の特別公開(福島家住宅)

明治時代に作製された澤井村全図(約4m四方の大絵図)の特別公開や関係の写真パネルなどを展示します。

日時 11月4日(日)、11日(日) 午前10時～午後3時

会場 都指定有形文化財「福島家住宅」(沢井2-720)

入場無料

○文化財解説ボランティアによる解説

期間中、原則として土・日曜日、祝日の午後1時～3時に市の文化財解説ボランティアが郷土博物館および旧宮崎家住宅で解説を行いますので、気軽にお声かけください。



福島家住宅

青梅市の文化遺産22

サシバの渡り

市文化財保護指導員 荒井悦子

サシバという渡りをするタカがいます。4月上旬ごろ、東南アジアなどの暖かい国から繁殖のために日本にやってきて、秋になると大きな群れになって渡っていきます。

サシバは、里地里山を繁殖地として好み、ヘビ、トカゲ、カエルなど爬虫類や昆虫類などを捕食します。近年は耕作放棄の休耕地が多くなり、エサとなる生き物も減少しています。かつて里山の野

鳥として普通だったサシバは、平成18年12月に絶滅危惧Ⅱ種の指定種になり、ここ数年の生息数は、関東や関西地方では減少傾向、東京都ではほとんど営巣していません。

サシバは、9月下旬～10月上旬にかけて多摩地区の上空を群れになって渡っていきます。日本野鳥の会奥多摩支部では、平成10年から梅の公園で観察

を続けています。平成28年9月30日には732羽が観察され、この日の記録は、「9時17分に42羽、9時46分に72羽の大きな群れを確認した。9時台に193羽の群れで69羽渡る。10時台は最大19時27分に43羽の群れ、11時32分に89羽の群れを観察。11時台は226羽渡る。」と午前中だけでも多くが渡りました。この年は、1869羽が観察できました。

サシバが梅の公園上空にやってくるのは北または東方向で、加治丘陵と草花丘陵が近づいてくる

地形が上昇気流を多く生み出します。これを利用してしようと集まってくるのです。渡りの特徴は、徐々に集まり、大きな円を描きながら旋回上昇をします。この様子を「タカ柱」と言います。その後南へ滑翔していきます。その風景を見るために多くの人が集まります。

問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859

